

阪神・淡路大震災の概要

1. 兵庫県南部地震発生=1995年(平成7年)1.17 5:46
震源: 明石海峡(北緯34度35分、東経135度03分 深さ14km)
震度: 最大震度7(揺れの強さ、10段階で7が最大)
南は鹿児島、北は福島・新潟まで揺れた。

マグニチュード: 7.3(地震のエネルギーの大きさ) **瞬時(約10秒)に2~3段(1m)の起伏や横ズレ(1~1.2m)**
内陸直下型地震: プレート内部で岩盤が破壊(ズレ動く)された。
プレート境界型(海溝型)や火山性の地震もある。

2. 阪神・淡路大震災

兵庫県南部地震で起きた災害を阪神・淡路大震災という。
被害状況: 死者6,434名、行方不明者3名、全半壊家屋約46万世帯
重傷者10,683名、軽傷者33,109名、被害総額約10兆円
約5000人(80%)が家屋の下敷きによる圧死。
神戸ではガスの引火で火災発生、多くの犠牲者。

3. 北淡町(現淡路市)の記録(人口・世帯は麓山校区と同規模)合併後51,000人

町勢: 人口11,214人 面積51.07km² 世帯数約3,700世帯
被害状況: 全壊1,057棟 半壊1,220棟 一部損壊1,030棟

死者39名 重傷者59名 軽傷者811名

救出作業: 6:30 災害対策本部設置

約300名が生き埋めになったが当日のお昼すぎには全員救出。**近所の人は誰がどの部屋で寝ているかまで知っていた。565名の定員+OB約500名を加えると人口の約1割が消防団として活動。(結・絆が強い地域で消防関係者多い)**
17:00頃には行方不明者0。

避難生活: 避難所は最大19か所、3,650名が避難。(物資の保管・分配大変)

仮設住宅は12団地600戸、2,038名、(老人世帯337)

3月6日から入居開始。

避難所生活が困難な人は老人ホーム、病院、親類宅へ。

支援: ①自衛隊(陸・海・空の見地から指示・命令等統率されたい感謝)

1月17日~3月末まで 延べ31,788名

道路の確保、倒壊家屋の撤去、給食・給水支援

②ボランティア等(大変助かるが、たより過ぎると自立遅れる。)

全国から1日最大215名、延べ8,500名

救援物資3,910件、義援金2,468件

5. 教訓

- ①隣近所とのコミュニケーションの大切さ
- ②防災意識の重要性(備え、訓練、命をどうやって守るか)
- ③家屋の耐震、住民への情報伝達方法の確立、災害に強いまちづくり
- ④災害後のこころのケアの重要性

行先: 北淡震災記念公園
日時: 平成25年6月15日(土)
参加: 35名



野島断層保存館 見学料金 ※団体は30名様以上	一般	団体	身体割引
大人	700円	630円	350円
中・高生	300円	270円	150円
小学生	250円	220円	120円

●駐車料金(無料) 乗用車200台 観光バス50台 ●12月下旬に臨時休館があります。
＜開館時間＞9:00~17:00
●指定天然記念物 野島断層
北淡震災記念公園
〒656-1736 兵庫県淡路市小倉177番地
TEL.0799-82-3020(代) FAX.0799-82-3027
E-mail/info@nojima-danso.co.jp

語り部 副館長 米山正幸先生



北淡町(現淡路市)の大震災発生状況

野島断層(2000 or 4000年前)が動いた事による地面のズレは北淡町小倉地区では、道路や・畑の畦・生垣のズレ等断層による様々な変化が瞬時(約10秒間)に2~3段(約0.5~1m)の起伏や横ズレ(約1~1.2m)が発生し大被害となる。

- 地震発生が生活々動を始める前で被害を最小限に食い止めた。
- 淡路島は河川がなく、「溜池」を農業用水や防災用水に利用。地震によるズレで水が吹き出し「溜池」があふれ野島小学校等二次災害の恐れあり消防車で排水。
又、平林地区で火災発生。倒壊救出に向う消防車を消火活動に向わせるも新設の消火栓が水が出ず不能。地域事情によって様々な状況。
- 淡路島はプロパンガスが主体で一部を除きライフラインは比較的確保。
- 倒壊・半壊・屋根瓦の落下多く、救出活動では昔からのハール&スコップ、鉬、手鋸等が活躍。三角巾も役に立つ。フェソ等は釘を拾い取。
- 建設関係者及び大工さんは家屋の基本的知識あり、大変助けられた。

避難所運営

避難物資は四国等から素早く沢山届き有難かった。(下着の古着はダメ)
19ヶ所に3650人。分面が大変(余りにも多く大工さんに仮設倉庫作って頂く)
最初の日は何も出なく、子と母やお年寄り気づかうが2日目から自分本位に四国から仮設トイレ緊急で届けられ助かった。(神戸は阪神高速が不通でダメ)
減災を!! 大震災から学びたい!!

- 家具や電化製品の固定・電灯の落下防止も…電子レンジ2-3m横飛び。
- ガラスや食器棚に飛散フィルムを貼る。スリッパ等身近に…裸足は危険。
- 丈夫な机を置く…最悪の場合人のスキ間に。水・呼び笛・非常持出品の常備。
- ご近所の結・絆づくり…向う三軒両隣の良なおつきあい構築。



断層保存ゾーン 広さ:422m²
断層による様々な地形の変化をカメラやパネル、案内係の解説により詳しく観察できます。断層の断面が見られるトレンチ展示や触れる断層もあります。

平成25年4月13日05時33分頃の淡路島付近の地震について

地震の概要

発生日時：4月13日05時33分頃

マグニチュード：6.0(速報値) → 6.3 (MAX)

場所および深さ：淡路島付近、深さ約10km(速報値)

発震機構等：東西方向に圧力軸を持つ逆断層型(速報)

震度：【最大震度6弱】兵庫県淡路市(あわじし)で震度6弱、兵庫県南あわじ市(みなみあわじし)で震度5強、大阪府岬町(みささちょう)、兵庫県洲本市(すもとし)、徳島県鳴門市(なるとし)、香川県東かがわ市(ひがしかがわし)、小豆島町(しょうどしまちょう)で震度5弱を観測したほか、近畿地方を中心に、中部地方から九州地方にかけて震度4~1を観測しました。

★今回の被害状況

北淡町小倉地区では前回の大地震で家屋の建替・耐震補強が進み死傷と被害なし。
津名地区の一部では液状化及び互の落下、一部損壊あるも報道は一局面!!

○余震活動の状況

13日07時00分現在、震度1以上を観測した余震は8回発生しています(震度3:1回、震度2:2回、震度1:5回)。

○防災上の留意事項

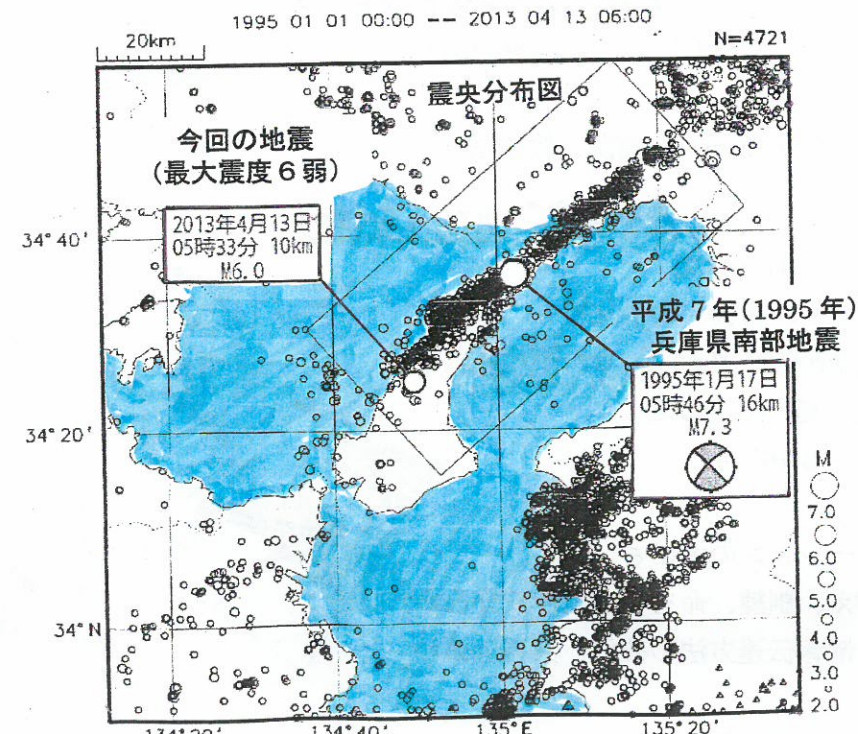
揺れの強かった地域では、家屋の倒壊や土砂災害などの危険性が高まっているおそれがありますので、今後の余震活動に十分注意してください。
兵庫県瀬戸内海沿岸、淡路島南部、和歌山県、徳島県、香川県で若干の海面変動が予想されますが、被害の心配はありません。

発生した地震の概要(速報値)

緊急地震速報の内容

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度
平成25年04月13日05時33分	淡路島付近	34.4	134.8	10km	6.0	6弱

(1995年1月1日~2013年4月13日05時33分、深さ30km以浅、M2.0以上)



4月13日発生の地震に関する被害状況

被害の種別	被害の数
人的被害	重傷 1人 軽傷 2人
住家被害	一部損壊 86棟
非住家被害	公共施設 22棟 その他 46棟

防災課(南あわじ市役所)
〒656-0472 南あわじ市市善光寺18番地27
直通 Tel:(0799)43-5006

阪神淡路・兵庫県南部地震(M=7.3)と今回の地震(M=6.3)は地震規模・エネルギー比較にならない。

メモリアルハウス



地震断層が横切る民家を、メモリアルハウスとして保存。敷地内を走る断層や震災当時の建物のような公開されています。また、再現された「地震直後の台所」も展示されています。



研修(セミナー)

畦の起伏

生垣の起伏と横スレ



夏祭りの研修

1/6 瀬戸大橋島
明石海峡 波岸工高卒 工事総括
瀬戸大橋 大垣工高卒 責任者
(正木2丁目南谷自治会長説明)



阿波おどりの 醍醐味が いつでも 味わえる。 会館専属連と 有名連で、 昼夜、 披露しています。

